

研修医だより

命を守り育む医師を目指して



初期研修医 2年目 前木

奈津美

(H27 島根大学医学部卒)



ロボットや訓練ロボット、介護ロボットなどの開発、ブレインマシンインターフェース、義肢義足の開発、宇宙工学など多岐にわたり携わっているようです。学会や県外の大学病院のリハビリテーション科などを見学させてもらいましたが、科学の進歩に驚かされ、同時にわくわくするようなものでした。大きな話になりましたが、たとえ最新の設備やロボットがなくても、できることはたくさんあると思います。特に転倒予防や生活習慣病予防には地道なトレーニング、運動習慣の積み重ねが大事だったりします。私は将来一次予防にも関わっていかれたらと思っていて、頭では理解していても実践することが難しいことがあるのは自分でも実感しますが、医療資源を節約しなければならないこれからの時代にはとても大事になってくると思います。

まだまだ分からないことも多く、不安もたくさんありますが、先行く先輩方が臨床や研究・医療の発展に貢献しておられ、価値あるものを提供できるかは自分の努力次第だと思い、日々精進していきたいと思っています。

最後になりましたがこの場をお借りしまして御礼を申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。また浜田に戻ってきた折には、お声をかけていただければ嬉しいです。末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



日増しに暖かさを感じられるようになりましたが、皆様いかがお過ごしですか。この度研修医だよりを担当させていただき、研修医2年目の前木 奈津美と申します。私は中学まで浜田市で育ち、高校から出雲高校へ進学し島根大学を卒業しました。初期臨床研修医として浜田医療センターで勤務し、2年間の研修終盤を迎えた所です。

研修を振り返ってみると、医療現場は人の役に立てるという実感がありやりがいを感じますが、喜ばしいことばかりではなく、厳しい現実に向き合わないといけないことも多々ありました。失敗や後悔もありましたが、今振り返ると自分の糧になっています。ご多忙の中、先生方にはご指導いただき、困ったときには助けて頂きました。自分の幼少期や、自分の家族がお世話になった先生方と一緒に過ごしてもらう機会もあり、感慨深い思いでした。病院で自分をご存知いただく方にお会いする機会もあり、今まで色々な人にお世話になっていたことに改めて気づかされました。そして経験の浅い自分が担当することを快く承諾して下さった患者さんの方々も、貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

4月からは島根大学医学部附属病院のリハビリテーション科の後期研修医として勤務します。整形疾患や脳神経疾患、術後に関わるだけではなく、最近は内科疾患や緩和ケアなど、様々な分野でもエビデンスが確立されてきており、他にも他科や企業と共同で脊髄損傷の歩行